

分野別情報**第3回化学物質・汚染物質専門調査会清涼飲料水部会議事概要**

○第3回化学物質・汚染物質専門調査会清涼飲料水部会

日時:平成21年3月13日(金)10:00~11:40

場所:食品安全委員会 大会議室

議事概要:

(1)清涼飲料水中の化学物質(クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブromoホルム、総トリハロメタン)の規格基準改正に係る食品健康影響評価について

1)クロロホルム

・審議の結果、耐容一日摂取量(TDI)を $12.9 \mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日と修正し、評価書(案)を幹事会へ報告することとされた。

* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。揮発性の高い、芳香のある液体で、麻酔剤や消毒剤などの医薬品、油脂やゴムの有機溶剤、消火剤などに利用されます。

2)ブロモジクロロメタン

・審議の結果、TDIを $6.1 \mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日と修正し、評価書(案)を幹事会へ報告することとされた。

* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。揮発性の高い液体で、洗浄剤や塗料などを合成するための溶媒として利用されます。

3)ジブロモクロロメタン

・審議の結果、TDIを $21.4 \mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日とし、評価書(案)を幹事会へ報告することとされた。

* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。揮発性の高い液体で、冷媒や農薬などの製造過程での合成中間体として生成します。

4)ブromoホルム

・審議の結果、一部修正の上、評価書(案)を幹事会へ報告することとされた。

* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。比重の大きい液体で、地質分析や鉱物の選別に利用されます。鎮静剤や睡眠薬の成分にもなります。

5)総トリハロメタン

・審議の結果、総トリハロメタンとしてのTDIは設定できないとし、一部修正の上、評価書(案)を幹事会へ報告することとされた。

* クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブromoホルムの総称です。それぞれの生成量は、水中の温度、pH、塩化物イオンや臭化物イオンの濃度に依存します。

(2)その他

・「ベンチマークドースアプローチを用いた評価について」は、清涼飲料水部会決定(案)として、次回幹事会において、個別評価案件とともに審議することとされた。